

「海外拠点活用研究領域」公募に関して、研究受け入れ可能な感染症一覧

NO.	海外研究 拠点名	大学名 研究代表者 役職・氏名	新型コロナウ イルス感染症 の研究受け入 れの可否	新型コロナウイルス感染症以外で、 研究受け入れ可能な感染症	海外研究拠点のホームページ URL
1	ザンビア	北海道大学 教授 澤 洋文	○	人獣共通感染症（結核、ボレリア症、ウイルス性出血熱、 ウイルス性呼吸器感染症、トリパノソーマ症、有鉤条虫症 等）	http://www.czc.hokudai.ac.jp/
2	フィリピン	東北大学 教授 押谷 仁	○	1) 小児呼吸器感染症： RS ウイルス、エンテロウイルス、ライノウイルス、インフ ルエンザウイルス、ヒューマンメタニューモウイルス、 パラインフルエンザウイルス、アデノウイルス 2) 小児下痢症： ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス 3) 蚊媒介感染症： チクングニヤウイルス、デングウイルス 4) 狂犬病	http://www.virology.med.tohoku.ac.jp/ja/index.html
3	ミャンマー	新潟大学 教授 齋藤玲子	○	小児下痢症、インフルエンザ、小児髄膜脳炎	https://www.med.niigata-u.ac.jp/idm/

4	中国	東京大学 教授 川口 寧	○	インフルエンザ、後天性免疫不全症候群、デング熱、 その他関連ウイルス感染症	http://www.rcaid.jp/
5	ガーナ	東京医科歯 科大学 教授 鈴木敏彦	○	蚊媒介性感染症（デングウイルス感染症、マラリア）、 ウイルス性下痢症、薬剤耐性細菌、ブルーリ潰瘍	http://www.tmd.ac.jp/international/globalization/ghana/index.html
6	タイ	大阪大学 教授 松浦善治	○	蚊媒介性ウイルス感染症（デング熱、ジカ熱、日本脳炎、チ クングニヤ熱）、細菌性下痢症、ウイルス性下痢症、多剤耐 性菌	http://www.biken.osaka-u.ac.jp/laboratories/detail/41
7	コンゴ民主共 和国 (DRC)	大阪市立大 学 准教授 城戸康年	○	三大感染症 ・マラリア Neglected Tropical Diseases ・トリパノソーマ症 ・フィラリア症 ・狂犬病 ・その他、相談可 cancer related infections ・ヘリコバクター・ピロリ ・肝炎ウイルス	
8	インドネシア	神戸大学 教授 森 康子	○	インフルエンザ、ウイルス性下痢症（ロタウイルス、ノロウ イルス）、デングその他蚊媒介感染症、HIV 感染症、薬剤耐性 菌	https://www.med.kobe-u.ac.jp/jgrid/index.html

9	インド	岡山大学 教授 三好伸一	○	感染性下痢症、細菌性下痢症、ビブリオ感染症、コレラ、 病原性大腸菌感染症、ウイルス性下痢症、ロタウイルス感 染症、耐性菌感染症	http://www.cid.ccsv.okayama- u.ac.jp/index.html
10	ベトナム	長崎大学 教授 森田公一	○	蚊媒介性感染症、病原体媒介蚊、呼吸器感染症、下痢性感 染症、人獣共通感染症、薬剤耐性菌、エイズ、結核	http://www.tm.nagasaki- u.ac.jp/nekken/

(出所) 各海外研究拠点から提供された情報に基づきます。

(備考1) 本公募が対象とする感染症は、①新型コロナウイルス感染症、または②新型コロナウイルス感染症以外の新興・再興感染症となりますので、
ご注意ください。

(備考2) 公募要領には次の記載がありますので、ご参照ください。

本研究領域に応募・提案する研究者は、新興・再興感染症研究基盤創生事業（海外拠点研究領域）に採択された海外研究拠点の研究代表者から、
あらかじめ現地国における研究可能な感染症や海外研究拠点の研究体制、協力・受け入れ体制、現地に常駐する研究者の状況、利用可能な施設・研
究設備機器（含む、制約事項）、現地国で取得した検体、臨床情報の取り扱い情報（現地国の許可を受けた場合の利用可否、国外持ち出し可否等）、
現地で共同研究を行うことのできる医療機関や研究機関などの情報等を得て研究計画を立案し、当該研究拠点の研究代表者と研究計画について合
意を得ていることを求めます。（公募要領 XI. 公募研究開発課題）